



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 6 年 5 月 31 日 第 131 号

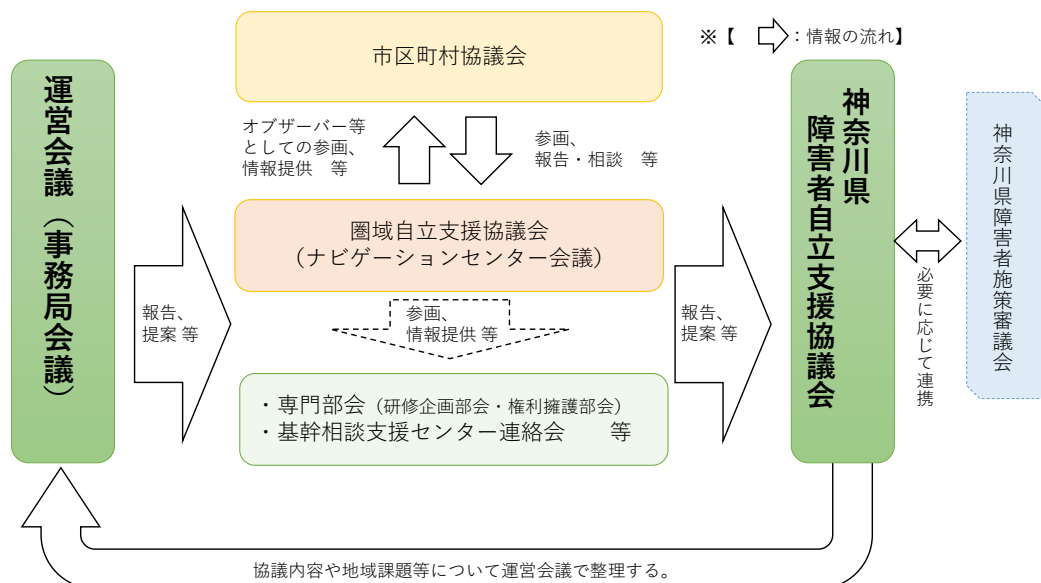
社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室
〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

神奈川県障害者自立支援協議会 運営会議について

令和 4 年 12 月の障害者総合支援法第 89 条の 3 関係の改正を受け、令和 6 年 4 月 1 日から（自立支援）協議会の役割・機能が強化されました。

この流れの中で、令和 6 年 3 月 19 日（火）に開催された第 36 回神奈川県障害者自立支援協議会において、運営会議（事務局会議）が設置されることになりました。この会議は、県及び障害保健福祉圏域ごとの協議会の方向性等を示し、自立支援協議会の活動の推進を図ることが目的になります。構成員は、正副会長、各部会座長、各圏域ナビゲーションセンター、県障害福祉課です。第 1 回会議は、令和 6 年 5 月 13 日（月）に 10 名が参加してオンラインで開催されました。初回であったため、開催方法、開催頻度及び時期について協議し、本会議や圏域自立支援協議会の開催日を考慮して、次回以降の開催日程を決定しました。各障害保健福祉圏域が提起した課題をどのように整理し、どのように扱うのかを意見交換する中で、身近な地域で障害のある人の生活を支える体制を作っていくことが重要であり、例えば、できることが限られていたとしても神奈川県がどのように基礎自治体をバックアップしていけるかが大切である、ということが共有されました。また、運営会議と連動しながら、ナビゲーションセンター会議を開催することについても協議されました。今後は、回数を重ねながら、目的の達成にむけて協議を進めていくこととなります。次回は、8 月 6 日（火）に開催する予定です。

【神奈川県障害者自立支援協議会を運営する上での情報の循環イメージ】



伊勢原市グループホーム連絡会・湘南西部圏域グループホーム連絡会 令和6年度第1回事例検討会 参加報告



事例検討会を終えて和やかなムードで

湘南西部圏域グループホーム連絡会では、グループホームが必要とする研修内容を明らかにするため、いくつかの圏域内のグループホーム連絡会と協働して、令和6年3月に研修ニーズ調査を行いました。その中に、助言者を招聘し、支援に困っている方の事例検討会の開催を希望するか否かの設問があり、そこで希望したグループホームの中の1つで、5月20日(月)に事例検討会が開催されました。

参加者は、伊勢原市障がい福祉課、グループホーム、相談支援事業所、通所事業所、圏域グループホーム連絡会事務局、圏域ナビになります。事例検討会は、グループホームから事例概要と支援で困っている事柄の説明の後、関係機関での支援状況が報告されました。その後、助言者から参加者へ、これまでの支援について質問する形でアセスメントが進み、意見交換を重ねていきました。今後に向けて、助言者からは、

- 支援が難しくなりがちな、ご本人が苦手になっている状況においても、ご本人が落ち着いてられる時の条件を明らかにするため、良い過ごし方ができている時の状況を記録に残していくこと。どうしても、支援に行き詰まった支援者は、悪い情報を中心に共有しがちだが、そういうご本人の良い時の情報を適切に共有することがとても大切。ご本人が苦手になっている状況には理由が必ずあると考え、集まった良い情報も参考に仮説を立てて、ご本人を中心に皆で考え、試してみる必要がある。
- 困難さはあれど、生活自体が安定している今は、様々な事柄に挑戦できる時期。ご本人がどのような生活を望むのかに立ち返り、それに基づいてどんな支援が必要かを考えること。

との助言をいただきました。また、最後の振り返りの時間では、

- ◇ 今までは支援は難しいと思っていたが、いろいろな視点で捉えることの大切さがわかった(グループホーム)
 - ◇ 緊急で支援が始まり、それが落ち着いてからは、大きな支援方針の変更なく支援が深まっていなかった。将来のことまで見据えて話げできたことが良かった。自身の経験から、グループホーム職員は、ときに現場で孤立してしまうこともあると思う。その時は、この支援者のつながりを互いに活かしかえると良い。(通所事業所)
 - ◇ 支援で困ったときは、一緒に困りたい。互いに相談できると良い。(相談支援事業所)
- といったお話が出ました。今後は、支援経過を数か月後に振り返り、必要に応じて改めて助言者からの助言をいただけることになりました。また、グループホームの職員の方が今回の経験を通じて感じたこと等を何らかの形で発信できるように、事務局が調整を進めるとのことです。5月30日(木)には、平塚市内のグループホームで同様の事例検討会が予定されています。

【あとがき】報酬改定に伴う混乱は未だ収まったとは言えない状況もあるようです。改定の度に繰り返しているようにも感じてしまいます。もっと良い方法があると良いのですが…。
